

みずほCustomer Desk Report 2017/01/20 号 (As of 2017/01/19)

【昨日の市況概要】

[昨日の市況概要]					公示仲値		114.88
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD	
TKY 9:00AM	114.72	1.0628	121.94	1.0080	1.2264	0.7510	
SYD-NY High	115.62	1.0677	122.73	1.0122	1.2343	0.7575	
SYD-NY Low	114.40	1.0589	121.80	1.0043	1.2252	0.7493	
NY 5:00 PM	114.85	1.0662	122.46	1.0062	1.2342	0.7560	
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			12.695/13.145	Δ 25RR	0.618	Yen Call Over	
NY DOW	19,732.40	▲ 72.32	債券市場	日本2年債	-0.2360	▲ 0.8bp	
NASDAQ	5,540.08	▲ 15.57		日本10年債	0.0770	2.0bp	
S&P	2,263.69	▲ 8.20		米国2年債	1.2214	-	
日経平均	19,072.25	177.88		米国5年債	1.9633	2.5bp	
TOPIX	1,528.15	14.29		米国10年債	2.4739	4.4bp	
シカゴ日経先物	19,105	45.00		独10年債	0.3790	2.4bp	
ロンドンFT	7,208.44	▲ 39.17		英10年債	1.4080	7.2bp	
DAX	11,596.89	▲ 2.50		豪10年債	2.7590	7.8bp	
ハンセン指数	23,049.96	▲ 48.30	為替市況	USD/CNH	6.8464	0.0062	
上海総合	3,101.30	▲ 11.71		ドルインデックス	101.15	0.22	
USDJPY 3M Vol	12.67	0.37%	商品市況	CRB指数	192.965	▲ 0.39	
USDJPY 6M Vol	12.58	0.31%		NY金	1,201.50	▲ 10.60	
EURJPY 3M Vol	10.57	0.13%		WTI	51.37	0.29	
EURJPY 6M Vol	12.16	0.14%		Dubai Spot	51.84	▲ 0.59	

東京	東京時間のドル円は114.72レールでオープン。前日にイェンFRB議長が「2019年にかけて毎年数回利上げを行っていくと予想している」と発言したことを受けて米金利が上昇中、ドル円は東京時間高値114.91まで上昇。日経平均株価が高寄りして推移したことも相場のサポート材料となった。午後に入ると日経平均株価が上げ幅を縮小させた局面でドル円は東京時間安値114.44まで下落。しかし、その後は海外時間にECB理事会・ドラギECB総裁記者会見、ムニューチン次期財務長官候補の指名承認公聴会、20日にトランプ大統領就任式を控える中、様子見ムードとなって114円台半ばでレンジ推移。結局ドル円は114.65レールで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は114.65レールでオープン。午前中は経済指標や目立った材料もなく全般的にドラギECB総裁記者会見を待ちながら様子見ムードとなり、一時安値となる114.40をつける場面があったものの明確な方向感には出ず、114円台半ばから後半でレンジ推移が継続。結局、ドル円は114.55レールでNYへ渡った。ポンドドルは1.2275レールでオープン、17日のメイ英首相によるBrexitに関するスピーチを消化し、落ち着いた相場となり1.2321レールでNYへ渡った。ユーロドルは1.0638レールでオープン。ECB政策金利と資産買い入れ策は予想通り据え置き結果となり、1.0669レールでNYへ渡った。
ニューヨーク	ECB会合を控えレンジ推移となったドル円は114.55レールでNYオープン。ECB会合では予想通り金融政策は現状維持となったが、その後行われたドラギ総裁の会見では「基調的なインフレ圧力は引き続き弱い」、「見通しが悪化すればQEの拡大、延長が可能」とハ派な発言を受けて対ユーロドル買いが強まり、ドル円は115円台半ばまで上昇。また朝方発表された米12月住宅着工件数、米1月フィデリティ・フィア連銀景況指数が予想を上回ったことや、新規失業保険申請件数も1970年代以来最低の水準となったこともドル買いにつながった。その後行われたムニューチン財務長官候補の公聴会では「強いドルは長期的に重要」との発言が出たことからドル円は高値の115.62まで上昇した。午後はトランプ大統領就任式を20日に控えポジション調整もある中、米長期金利の低下や軟調な米株を横目にドル円は下落、115.00付近では短期筋のストップを巻き込み114円台半ばまで下落し、114.85レールでクローズした。一方ユーロドルは1.0669レールでオープン。ドラギ総裁のハ派な発言を受けてユーロ買いが強まり、安値の1.0589まで下落。しかし1.05台ではユーロ買い意欲も強く、米金利低下を受けてドル売りも強まり、1.0662レールでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前調査に基づいて変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その旨を問はず無断で引用または複製することは禁じます。

担当：高野・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月19日	8:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	9:30	豪 雇用者数変化/失業率	12月 13.5K/5.8%	10.0K/5.7%
	21:45	歐 ECB理事会・ECB主要政策金利	- 0.000%	0.000%
	22:30	欧 ラヂ・ECB総裁 記者会見	-	-
	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	12月 1,226K/1,210K	1,188K/1,225K
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 234K	252K
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	1月 23.6	15.3

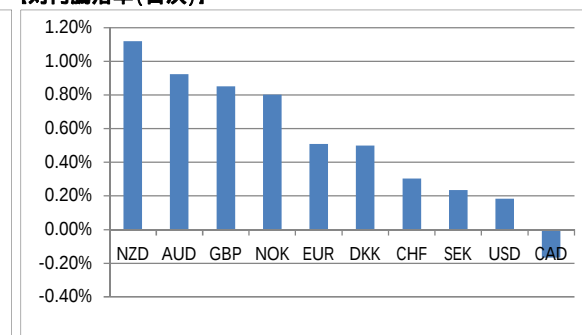
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
1月20日	10:00	米 イエレン・FRB議長 講演	-	-	-
	11:00	GDP(前期比/前年比)	4Q	1.7%/6.7%	1.8%/6.7%
	11:00	鉱工業生産(前年比/年初来前年比)	12月	6.1%/6.0%	6.2%/6.0%
	11:00	小売売上高(前年比/年初来前年比)	12月	10.7%/10.4%	10.8%/10.4%
	18:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	12月	-0.4%/7.5%	0.5%/6.6%
	18:30	英 小売売上高(含自動車燃料、前月比/前年比)	12月	-0.1%/7.2%	0.2%/5.9%
	22:30	加 CPI(前月比/前年比)	12月	0.0%/1.7%	-0.4%/1.2%
1月21日	1:30	米 トランプ大統領 就任式	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.20-115.60	1.0630-1.0730	121.80-123.20

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は上昇した。114円台後半で推移していたドル円は、米国時間に発表された一連の米経済指標が軒並み良好な結果となったことを受け、115円台半まで上昇。その後、ムニューチン米次期財務長官が指名承認公聴会にて「ドルの長期的な強さが重要」とのコメントにもサポートされ、115.62まで上伸した。その後は軟調な米株相場や米金利の低下を背景にやや弱含み、結局114.85付近でクローズしている。本日のドル円相場はやや神経質な展開を予想する。本日は日本時間10時にイエレンFRB議長が講演を行うことに加え、日本時間深夜にはトランプ米大統領の就任式が行われ、いずれも米金融政策及び通貨・通商政策に対するコメントが相場に動意を与える可能性があるため、注意が必要だ。